

第46回大阪府合唱祭 講習会のご案内

詳しい時間帯は後日お知らせいたします。入場券をお持ちであれば誰でも受講できます。興味のある方は、ぜひ、この機会に受講しましょう。

◆講習内容◆

「北野 徹先生のリズム講座」(13日・SAYAKAホール大ホール)

「リズム」は音楽の大切な要素ですが、歌詞や音程のことばかりに目がいってあまくなっていませんか。ということで、今回も昨年に引き続き、関西だけでなく日本を代表するパーカッショニストであり合唱コンクールでも審査をいただいている 北野 徹先生にリズム講座をお願いしました。また、今年は、北野先生が主宰する4人のパーカッショングループのミニ演奏会も行います。目からウロコのリズムの妙を体で感じてみませんか。一般の方は、もとより、ぜひ指導者の方にも参加頂ければと思っています。

講師：北野 徹 (きたの とおる)

大阪音楽大学器楽科卒・同大学専攻科修了。

主にバロック音楽と現代音楽を中心にソロ・室内楽打楽器奏者として演奏活動を行う。現在までに、大阪・東京における七度のリサイタルやニューヨーク・香港・台北などでの海外リサイタルで日本の心を大切にしたいパフォーマンスで好評を得る。また、各種現代音楽祭では国内外の作曲家の新作初演を数多く行い現代音楽の分野で貴重な存在になっているほか、邦楽・モダンダンス・演劇・歌舞伎・狂言・アートフラワーなど多岐にわたるコラボレーションも数多い。一方、リズムリストとして独自のリズム論で全国各地の教員研修会などでミュージックアドバイザーとしても活動する。

大阪文化祭賞金賞、三度の大阪文化祭賞本賞、大阪府舞台芸術賞、大阪府民劇場賞奨励賞、音楽クリティッククラブ賞奨励賞、音楽クリティッククラブ賞新人賞、西宮市教育功労賞などを受賞。現在、大阪音楽大学教授、大学院音楽研究科長、パーカッショングループ大阪代表。

「佐竹 毅先生のステージ演出講座」(27日・池田アゼリアホール)

まっすぐ立って合唱するだけでは物足りなくて、ステージで動きをつける演出したいなあと考えておられる団体は、ありませんか。全日本合唱コンクールに行かれた方は、ご存知の通り、コンクールでもステージ演出をするところが増えてきています。それは、世界の合唱団を見れば、一つのあり方となってきています。合唱の演奏が第一であることはいまでもありませんが、効果的なステージ演出が、演奏にプラスの影響をおよぼしていることは、プロの演奏を見ても確信できるものです。そういったことから、昨年に引き続き、今回も佐竹先生をお招きし、ステージ上でのコーラスと演出に関わる合唱団員のアクションについて、モデル合唱団とともに実践的に学んでいきます。(モデル合唱団を募集いたしますので、別紙内容に従いご応募ください。)

講師：佐竹 毅 (さたけ つよし)

関西芸術座附属演劇研究所を経て劇団四季入団。「ユタと不思議な仲間達」でミュージカルデビュー。退団後、バレエ、ダンスパフォーマンス作品に数多く出演。以来、ミュージカルを中心に企画・脚本・作詞・作曲・構成・振付・演出・出演と幅広く才能を発揮、関西を拠点に活動を続けている。宝塚ミュージカルフェスティバル3年連続入賞等受賞多数。1989年Company RHYTHM OF LIFE結成。スタジオモダンミレイ等ダンススタジオインストラクター。合唱団のステージ演出、歌唱表現のワークショップ等も手がける。

「木下牧子先生の日本語のうたい方講座」(28日・池田アゼリアホール)

今年は、東京から作曲家 木下牧子さんをお招きして、自らの合唱作品を題材に、日本語の曲をいかにしてうたうかということを中心に講義いただきます。

曲をつくる者の観点からのお話しは、興味深いものと感じます。

講師：木下牧子 (きのした まきこ)

東京生まれ。東京芸術大学作曲科卒業、同大学院修了。芸大卒業記念演奏会で管弦楽曲「壺天」が作曲科首席卒業作品として演奏される。管弦楽のための「幻想曲」で日本音楽コンクール作曲(管弦楽曲)部門入選。管弦楽のための「オーラ」で日本交響楽振興財団作曲賞入選。'03年オペラ「不思議の国のアリス」(モーツァルト劇場創立20周年委嘱作品)初演で三菱信託芸術文化財団奨励賞受賞。'05年同オペラ全面改訂版初演は各界から大好評を博し、主宰・モーツァルト劇場がエクソンモービル音楽賞受賞。主要作品に管弦楽のための「夜の淵」、弦楽オーケストラのための「シンフォニエッタ」、打楽器コンチェルト、吹奏楽曲「序奏とアレグロ」、クラリネット・トリオ「ねじれていく風景」、ピアノのための「夢の回路」など。

上記のほか特に合唱では難易度の高い大編成作品からアカペラ作品まで幅広く高い評価を得ている。歌曲の分野でも多数の出版作品があり、奏楽堂日本歌曲コンクール審査員を務めるほか、最近では室内楽、吹奏楽の委嘱も相次いで、活動の幅を大きく広げている。出版は、約80冊、CDも「ふるえる月」「邪宗門秘曲」「C.ロゼッティの4つの歌」ほか多数。'08春には「図解雑学 よくわかる楽典」の監修も務めた。現在、日本現代音楽協会会員。

木下牧子公式サイト m-kinoshita.com